

日本学術会議
臨床医学委員会 子どもの成育環境分科会（第25期第15回）
議事録

日時：令和4年10月3日(月) 18:00～19:00

場所：遠隔会議(zoom)

出席者：山中（委員長）、西田（副委員長）、相澤、浅野、伊香賀、大倉、定行、都築、吉野、水口、三輪（敬称略）

冒頭に山中委員長から、本日の議事として、意見の表出の申出書（案）の説明があった。また、西田副委員長から、詳細な報告があった。以下のとおり、それに対する意見・コメントが出された。

- 時期の確認について：申出書を対応委員会に出す前に、親委員会（5つの委員会）に出す必要があり、そこで了承を得る必要がある。さらに、関連する委員会（第2部）に（申出書の締め切りは、1月31日）
 - 親委員会への提出し、承認後。
 - (ア)臨床医学委員会（第二部）
 - (イ)心理学・教育学委員会（第一部）
 - (ウ)健康・生活科学委員会（第二部）
 - (エ)環境学委員会（第三部）
 - (オ)土木工学・建築学委員会（第三部）
 - さらに、第二部（部長、副部長、幹事）（上のアとウとは違う）で見て頂くが、必要に応じて、第1部、3部に見て頂く必要がある場合もある。（事務の体裁チェックは終わる）
 - 検討課題（申出書）令和5年1月31日まで
 - 査読案（提言案）令和5年3月31日まで
 - ◇ 査読は、親委員会。査読チームを作るかも。
- 参照する過去の提言は、全部引用する必要がある。いままでの提言は、「見解」となった。今回は、新しい、一段上のレベルの提言（学術会議が責任）を狙うのか、見解（分科会が責任）を狙うのかは決める必要がある。
- 提言はどの程度ハードルは高いのかについては、まだ、前例が十分でない。
- 今回は、まずは、提言を狙う方向で進める。
- ②の部分で、表出先は、国に揃える。
- ⑥の学問分野に、建築学、土木工学、保育学、看護学、家政学、発達心理学を加える。

- ⑥5) のコレクティブ・インパクトが分かりにくいので、補足する。
- ⑥5) のスケールしないの意味が分かりにくいので、補足する。
- その他、誤字（デジタル・トランスフォーメーションなど）を修正する。
- 提言の骨子だけではなく、目次のようなものを付けると良い。
- 今後、提言に盛り込む予定の子どもの安全白書の記載があるが、その軸を考えていく必要がある。
- 申出書の内容に関しては、本分科会で、合意を得た。10月7日ごろまでに申出書を提出する予定である。

以上の議論を行い、次回の議題として、申立書に対する委員会コメントに関する議論を行う予定である旨の説明がなされ、閉会となった。